



介護に関する入門的研修終了！

令和6年度、本校の「介護アシスタント班」を履修する2、3学年の生徒が、介護の基礎的な知識を学ぶ「介護に関する入門的研修（基礎講座）」の受講を終了しました。



沖特支生18人 介護研修

知識深めやりがい実感

【うるま】うるま市の沖縄高等特別支援学校（城間政次校長）の2、3年生18人Ⅱ写真Ⅱがこのほど、厚労省が推進する介護の基礎知識や注意点を学ぶ「介護に関する入門的研修」を修了した。同校が本年度、新たに導入した選択授業の中で研修を行い、生徒が介護に関する知識を深めた。

同校では、毎年2、3人の生徒が高齢者施設に介護助手として就職している。超高齢社会を迎え、介護職の人材不足が課題となる中、介護職に興味を持つ生徒を増やそうと研修授業を始めた。

卒業後、高齢者施設での就職が決まっている3年の玉城星夏さんは「介護が必要な人は足腰

が悪く、認知症になっている人が多いと知った。研修で学んだ知識を生かし、頑張って仕事したい」と意気込んだ。

同じく3年の高江洲優依さんは「認知症への理解が深まった。親が高齢になったときは手助けしたい」、2年の久保田愛美梨さんは「介護のやりがいを学べた」と笑顔で話した。

その他の修了証授与者は次の通り。（敬称略）

【3年】石川和昂、上地健太、荻堂煌、棚原瑠泉、玉城有利彩、照屋鳳華、松尾こころ【2年】安里頼飛、伊禮駿、喜屋武快士、島袋壮史、当山琉希也、友寄梨央、比嘉琴乃、真栄城璃紅（中部報道部・又吉朝香）

2025年3月12日（水）
沖縄タイムス